



風の子

校訓

心ゆたかな子
たくましい子

かしこい子
自らはげむ子

学校教育目標 自ら学ぶ 心ゆたかな たくましい児童の育成
学校だより No.2 令和5年4月11日 水戸市立堀原小学校

新任式・始業式 4月6日(木)

校庭の桜の花びらが舞う中、令和5年度の学校生活が始まり、久しぶりに子どもたちの明るい声が堀原小学校に響き渡りました。6名の新教職員を紹介した新任式に続き、オンラインではなく体育館で、全校生参加による始業式を行いました。

本校の校訓である「心ゆたかな子 かしこい子 たくましい子 自らはげむ子」の具現化を目指し、児童数267名でのスタートです。

学校長あいさつ

今日から令和5年度がスタートしました。それぞれ1学年ずつ進級し、新たな気持ちでこの始業式に参加していることと思います。

今年、校長先生は、この堀原小学校が「分かった」「できた」「嬉しい」がいつぱいの学校になってほしいと思います。

今までの3年間は、コロナ禍によって、みんなで一緒に活動することができない場面がたくさんありました。しかし、コロナウィルス感染症が落ち着いてきたことにより、今年は様々な学習にチャレンジすることができそうです。今日の新任式や始業式は、全員が体育館に集まって行うことができました。とても、嬉しいことです。

日本中が沸いた WBC における侍ジャパンでは、毎回試合前にみんなで円陣と言って輪になり、その中心で毎回一人の人が声出し役を担当していたそうです。声出し役とは、試合に向けて、心を一つにするための気合を入れる言葉を発するリーダーです。WBC 侍ジャパンの7試合では、村上選手、甲斐選手、牧選手、ダルビッシュ有選手、ヌートバー選手は2回、そして決勝戦では大谷選手が声出し役を行いました。それぞれの選手の言葉は違いましたが、最後の言葉は皆同じで「さあ行こう！」でした。「勝利」という目標達成に向けての「さあ行こう！」です。

今、6年生の戸井田さん、3年生の石川さんが児童代表として目標を発表してくれました。皆さんも、新年度を迎え、令和5年度の目標を立てていることと思います。その目標達成に向けて、今この場、1学期の始業式が「さあ行こう！」というスタートラインです。

今年も「みんながリーダー」を合言葉に、皆さんが、自分そして友達のよさを認め合い、そのよさを大いに発揮できる一年になるように、先生たちもみんなで力を合わせて皆さんを応援していきます。

自信をもって、活躍してください。期待しています。

ようこそ！ 堀原小学校へ 第39回 入学式

44名の新入児童を迎え、堀原小学校は267名でスタートしました。在校生や保護者の皆さまのあたたかい拍手に包まれながら体育館へ入場してきた1年生の顔は、これからの堀原小学校での楽しい毎日に胸をふくらませ、キラキラと輝いていました。また、担任から名前を紹介された時には、元気に返事ができました。

堀原小学校での6年間が豊かなものになりますよう、教職員力を合わせて子ども達の成長を支えてまいります。

